

わたしたちはやっってるよ! みんなはどう?

～ 10月は3R推進月間～

環境課総務係 ☎(64)3194



いぬかい保育園のエコキャップ運動

園児たちが、各家庭からペットボトルのキャップを持ち寄ります。集められたキャップは、リサイクル業者に引き取ってもらい、その売却益でワクチンを購入し、世界の子どもの命を救うために活用します。

この取り組みは、市内すべての公立保育園・児童館で行われています。

みなさんは、3R活動をご存知ですか? 3R活動とは、ごみを限りなく少なくして、焼却や埋立処分による環境への悪い影響を減らすことと、限りある地球の資源を有効に繰り返し使う社会(＝循環型社会)をつくらうとするものです。

市では、市民や事業者などが主体となった「鹿沼市版もったいない運動」を推進しています。

リサイクル推進協力店で3R

市では、資源物の店頭回収や簡易包装の推進などに取り組んでいるお店等を「リサイクル推進協力店」に認定しています。

このステッカーが張ってあるお店を目印に、地球にやさしい買い物をしましょう。

リサイクル推進協力店の取り組み例

- ・資源物の店頭回収
- ・簡易包装やマイバックの推進
- ・詰め替え商品やエコ商品の販売促進
- ・製品の修理や地域でのリサイクル活動への協力



リデュース (Reduce・ごみを減らす)

- ・容器包装の少ないものを買う。
- ・長く使えるものを買う。

リユース (Reuse・くりかえし使う)

- ・フリーマーケットやリサイクルショップを利用する。

リサイクル (Recycle・資源として再利用する)

- ・ごみを分別して出す。
- ・リサイクル製品を買う。

主婦から見た3R

日常生活の3Rについて、環境審議会委員の落合さんに聞きました。



落合 一江さん (村井町)

Q ロン、主婦として気を付けていることはありますか？

A ごみの分別には、積極的に取り組んでいます。身近なリサイクルであるごみの分別は、市民一人ひとりがコツコツと続けていく必要があると思います。また、普段からエコバックを持ち歩いて、レジ袋をもらわないようにしています。心掛け次第で、さまざまな3Rに取り組みやすいと思います。

Q ロンが生活の環境について感じていることはありますか？

A 買った物についている、白色トレイなどの容器包装が多いと感じます。これらを減らすためには、利用する人がお店に対して提案していくことが重要だと思います。最近では、大型店舗でも野菜や魚、焼酎などはかり売りが広がっているように、私もよく利用しています。また、ペットボトルから入れ歯や携帯電話まで、たくさん入るものが

リサイクルされています。でも、まだまだ再利用できるものはたくさんあると思います。

牛乳パックの再資源化は、主婦が提案して広まったと聞いています。市民がアイデアを出し、活動を進めていくことが大切だと思います。



Q 3Rを広めるために大切なことは、どんなことだと思いますか？

A 子どもたちへの教育、特に学校での学習が重要になると思います。子どもたちが学んで取り組んだことは、家庭や地域に根ざしていきますから。また、市で取り組んでいる「もったいない運動」を広めていくことも重要だと思います。

身近な3Rのアイデア



ペットボトル

空いたペットボトルにパスタや乾燥した豆などを入れると保管に最適な上、見た目も楽しめます。



インクカートリッジ

使い終わったインクカートリッジは、店頭での回収箱へ。鹿沼郵便局では、「インクカートリッジ里帰りプロジェクト」の回収箱を設置しています。

11月8日(日)開催!

エコライフ・フェア in かぬま

環境活動推進会議事務局(環境課内) ☎(65)1064

環境問題や物を大切にしようとする「もったいない」意識を啓発し、市民の連携した取り組みで持続可能な社会を実現するため、エコライフ・フェア in かぬまを開催します。

- とき** 11月8日(日)午前10時～午後3時
ところ 環境クリーンセンター、リサイクルセンター
内容 ・フリーマーケット
 ・資源回収 (バッテリー、古紙、缶類、ペットボトルのキャップ)
 ・エコカー展示 など

